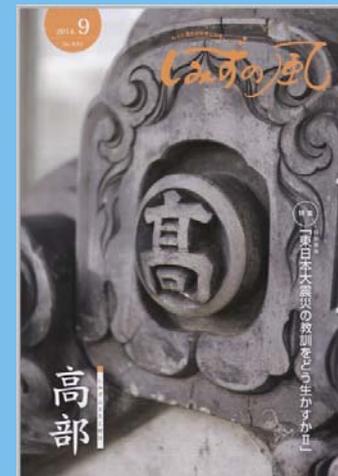
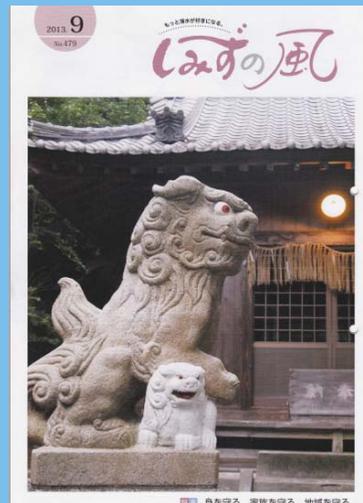


JALしみず庵原支店 平成26年度いほはらの集い 記念講演

2015..03.13(金) 19:30~20:30 於:JALしみず庵原支店2階大会議室

『大規模災害に備える』



ARMS 代表 赤堀 三代治

講師 プロフィール



あかほり みよじ
赤堀 三代治



ARMS 代表

リスクマネジメント協会認定リスクマネージャー、コンプライアンスオフィサー協会認定アドバイザー
1951年静岡県静岡市清水区生まれ 信州大学農学部卒

JA静岡経済連にて、畜産、企画管理、総務、情報システム、監査、コンプライアンス業務等を担当
元くみあい科学工業(株)社外監査役

所属組織等: リスクマネジメント協会、失敗学会、レジリエンス協会、BCAO事業継続機構、静岡県ふじのくに防災士会
JALみず(理事)

コンプライアンス・リスク管理・安全管理、衛生管理・接遇・CS・CSの研修講師・コンサルタントとして、
官公庁・JA・企業・医療福祉機関など全国で展開。

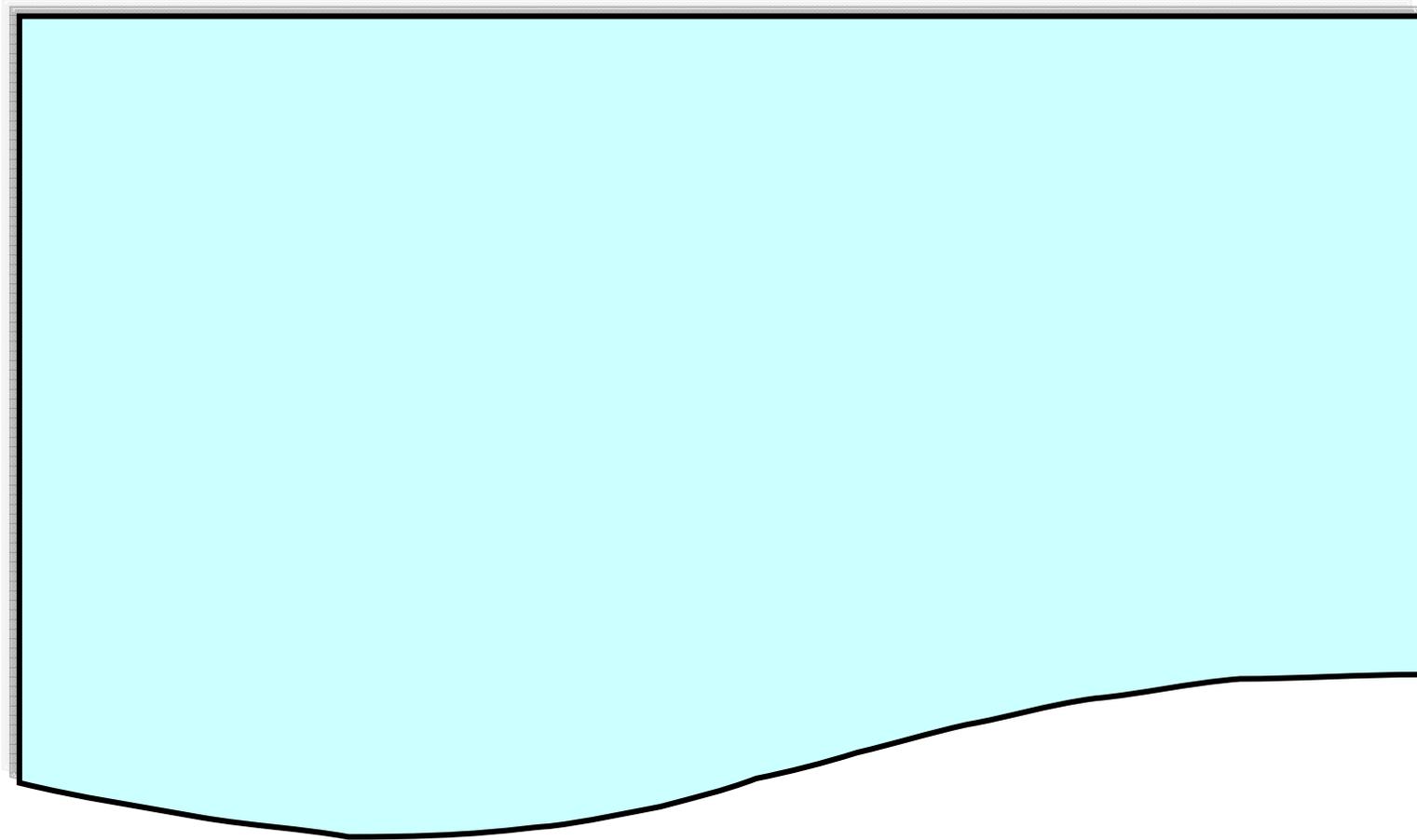
著書・連載など

『JA相談事例集 相続・高齢者取引編』(株式会社経済法令研究会/共著)

『JAコンプライアンス』(経済法令研究会/共著)脱稿中

『近代中小企業』(月刊誌/BCP、クレーム対応などを連載)

最近感動したこと・嬉しかったこと



目 次

1. はじめに
2. 庵原支所女性部主催
「自然災害対策研修会」(2014.08.08実施)
を振り返って
3. 発生が予想される東海、東南海、
南海・南海トラフ地震の特徴
4. 予想される大規模災害への備え
5. 講演の振り返り

はじめに

- ◆ 東日本大震災は、日本列島、地震の発生に関しては、極めてリスクの高い場所であることを、私たちにあらためて教えてくれた。
- ◆ 私たちの住む静岡は、
近い将来、巨大地震の高い確率での発生が予測されている。
どんなタイプの地震なのか、理解しておきたい。
- ◆ 私たちは、東日本大震災の教訓をどう生かしたらよいのか、
自分事として、真剣に考え、事前に準備しておきたい。

参照資料： JALみず広報「しみずの風」
2013.09月号
2014.09月号 別紙

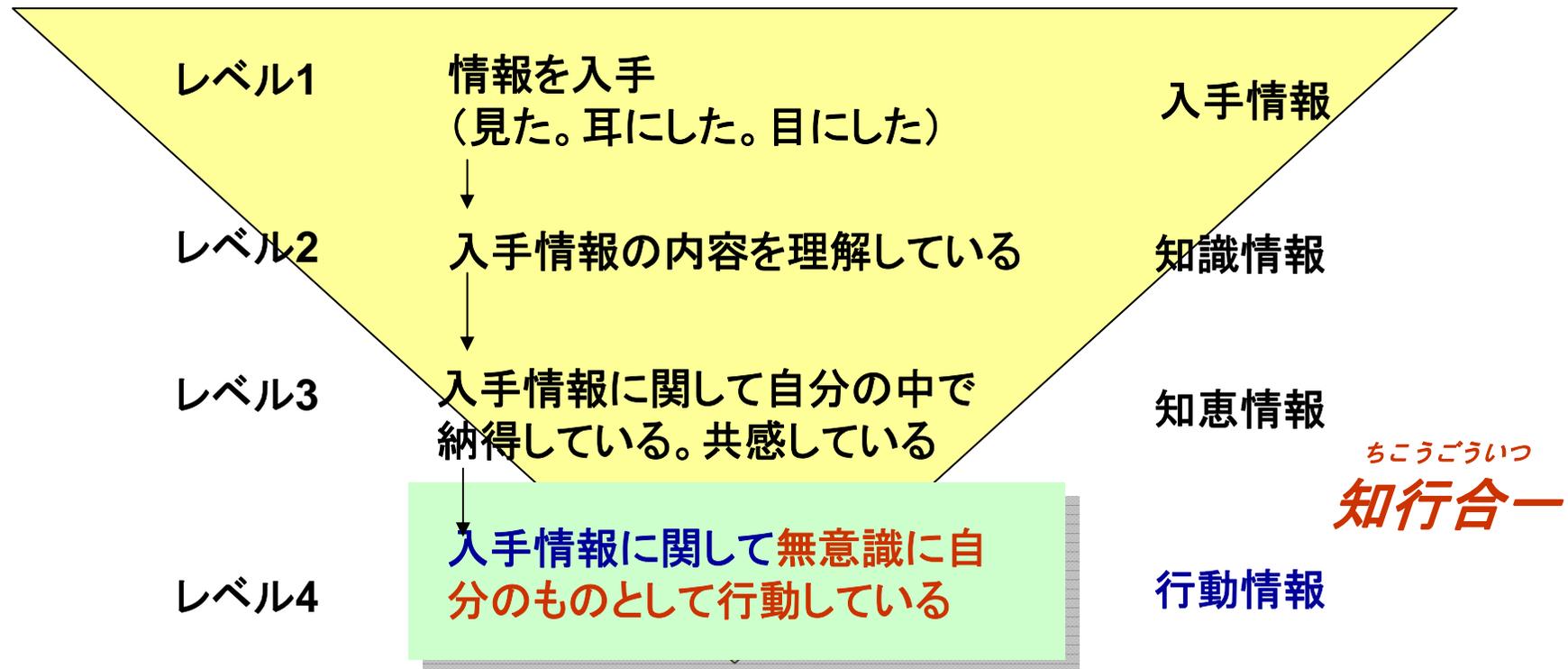
なぜ、研修が必要なのか.....

人間は、知っていることを真に理解し、行動しているとは限らない
自らの行動を見直し、改善していく姿勢が大切.....

本日の講演会をその機会としたい。

入手情報と情報深度に関する構造

<赤堀>



目 次

1. はじめに
2. **庵原支所女性部主催
「自然災害対策研修会」(2014.08.08実施)
を振り返って**
3. 発生が予想される東海、東南海、
南海・南海トラフ地震の特徴
4. 予想される大規模災害への備え
5. 講演の振り返り

平成26年度JAしみず女性部庵原支部研修会
『自然災害対策研修会』 次第
 日時：平成26年8月8日（金） 18:30
 場所：JAしみず庵原支店 2階大会議室



日本農業新聞 2014.09 号

しみずの風 2014.09 号

女性部庵原支部が講習会 東日本大震災の教訓を生かそう

女性部庵原支部は8月8日、庵原支店会議室で、JAみやぎ亘理(わたり)の元女性部長木村律子さんと元副部長の片岡京子さんを招いて、自然災害対策研修会を開催しました。女性部員約80人や運営委員会委員らが参加。木村さんから「東日本大震災を乗り越えて」と題した、被災時の経験や多くのボランティア、国の対応等、現在に至るまでの貴重な話を聞き、参加者からは「備えは大切」との声が聞かれました。



▲東日本大震災の教訓を生かそうと熱心に耳を傾けた参加者



自宅を再建した木村長一さん(左から2人目)と妻の律子さん(左から2人目)(宮城県亘理町で)

9月に自宅を再建し、やっと宮城県亘理町荒浜地区に戻ることができました。ここに

戻ることを考え、震災から3年半、無我夢中で過ごしてきました。

あの日、築き上げた全てをなくしました。家もハウスも農地も。最初の3カ月は眠れず、2011年6月に仮設に入り「少し頑張ろう」という

自宅を再建 「戻れたね」

気になれました。

もう一度、イチゴで暮らしたいころ。自宅のあった場所に、ハウス6棟を建てようと仮設との往復の日々を過ごし、今年から収穫が始まりました。道半ばですが、ここまで来られたのはげんかしなが

宮城県亘理町 木村長一さん(66) 律子さん(60)

被災地は いま

〜大震災から3年半

らも夫婦で一緒にいたから。ある意味、仕事と一緒にできる農業だったのが良かったのかもしれない。

元気で丈夫で、母、娘夫婦、2歳の孫との6人で普通の生活ができれば、それで満足。被害の甚大さを考えると、「生かされた」のかもしれない。だから、この地区の役員をしたり、復興の手伝いをしたりしながら、一人、二人と戻ってくるのを待っています。やっぱり、友達が帰ってきてくれるのが一番うれしいですね。
(随時掲載)

2014.08.08実施研修会の振り返り

⇒ 私が学んだこと。(再認識したこと)

1. 危機時にJAが地域で果たす機能の重要性
2. 平時の組織内関係、地域内関係をきずいておくことの重要性
3. リスクから自分の命を守るための具体的行動の習慣化の大切さ
4. 近い将来、私達が遭遇する災害の特徴をよく理解し、我がこととしてより実効性の高い、対応策を整理、実施しておくことの大切さ
5. 大規模災害への対応に関して、JAグループとして、関係者の連携のもと、正面から具体的にとり組んでいくことの大切さ

2014.08.08 研修会の振り返り

⇒ 私が具体的に行動を起こしたこと

1. JA亘理の現場に足を運び、この目で確認 交流を深める
(連帯をつよめる)

2014.11.20 JA、女性部木村さん、片岡さん宅訪問

庵原支所女性部に結果報告

2. JAしみずの中で、防災・BCP(事業継続、家族生活継続)に関する活動を始め

飯田支店運営委員会主催の防災講演担当。(2014.10.06)

JA役員、関連部署上級管理者との打合せ実施

JA広報部署 日本農業新聞との連携模索 記事掲載

(しみずの風9月号に関連記事掲載 日本農業新聞掲載)

庵原支店女性部いほはらの会総会にて講演。(本日)

JA役員会等での、BCPに関する提案 等

2014.12.02 JA庵原支店女性部役員会 報告

JAみやぎ亘理を訪ねて

2014.11.20 (木)

動 画

JALみず 理事
ARMS 代表

赤堀 三代治

飯田地域運営委員会がセミナー 被災地から防災学ぼう

東日本大震災の教訓を地域の防災に生かそうと、飯田地域運営委員会は10月6日、飯田支店で防災セミナーを開きました。防災士、リスクアドバイザーとしても活躍する赤堀三代治理事を講師に、組合員と職員約40人が参加しました。赤堀さんは「もし巨大地震がきたら家族の生活や農業をどうやって継続していくのか、JAとして地域に何ができるのか。被災地から学び、リスクを最小限にする対策を具体的に検討すべき」と事前準備の大切さを訴えました。



▲赤堀理事の話に耳を傾ける参加者たち

平し
成み
25
年ず
12の
月
号風

BCP策定、協定：

J Aの災害対策着々

災害時に備え、J Aでも対策を実践している。BCP（事業継続計画）の策定や避難訓練に加え、災害時に食料や人材、避難所を融通する協定を各市町村と結んでいるところもある。独自の取り組みを紹介する。

東日本大震災の被災地から適切な備えについて学ぼうとしているのが、静岡県のJ Aとぴあ浜松だ。2013年2月に宮城県とのJ A仙台と姉妹提携をして、14年4月から9月までの半年間、職員を1人派遣。復興支援をしながら、災害時の状況について情報収集し、J AのBCP改定に生かす。支援も継続している。

J Aあいち尾東は年1回の避

難訓練で、全職員が自動車以外の交通手段で通勤するスタイルを実践。全職員を対象にしたのは14年度からで、意識付けを目的としている。三重県J A松阪は、職員が名前や血液型、連絡先などを記載した「情報カード」を携帯している。緊急時の速やかな身元確認と、災害に備える意識を日頃から高めている。

静岡県J Aしみずは、女性部や青年部単位で災害時の対応を考える機会をつくろうと、赤堀三代治理事が中心となって14年度から、組合員向けのセミナーを開いている。赤堀理事は「与えられたマニュアル通りではなく、農家やJ Aが自ら考えて、地域に合った備えをつくるべきだ」と訴える。14年10月に行い、15年3月にも開催予定だ。

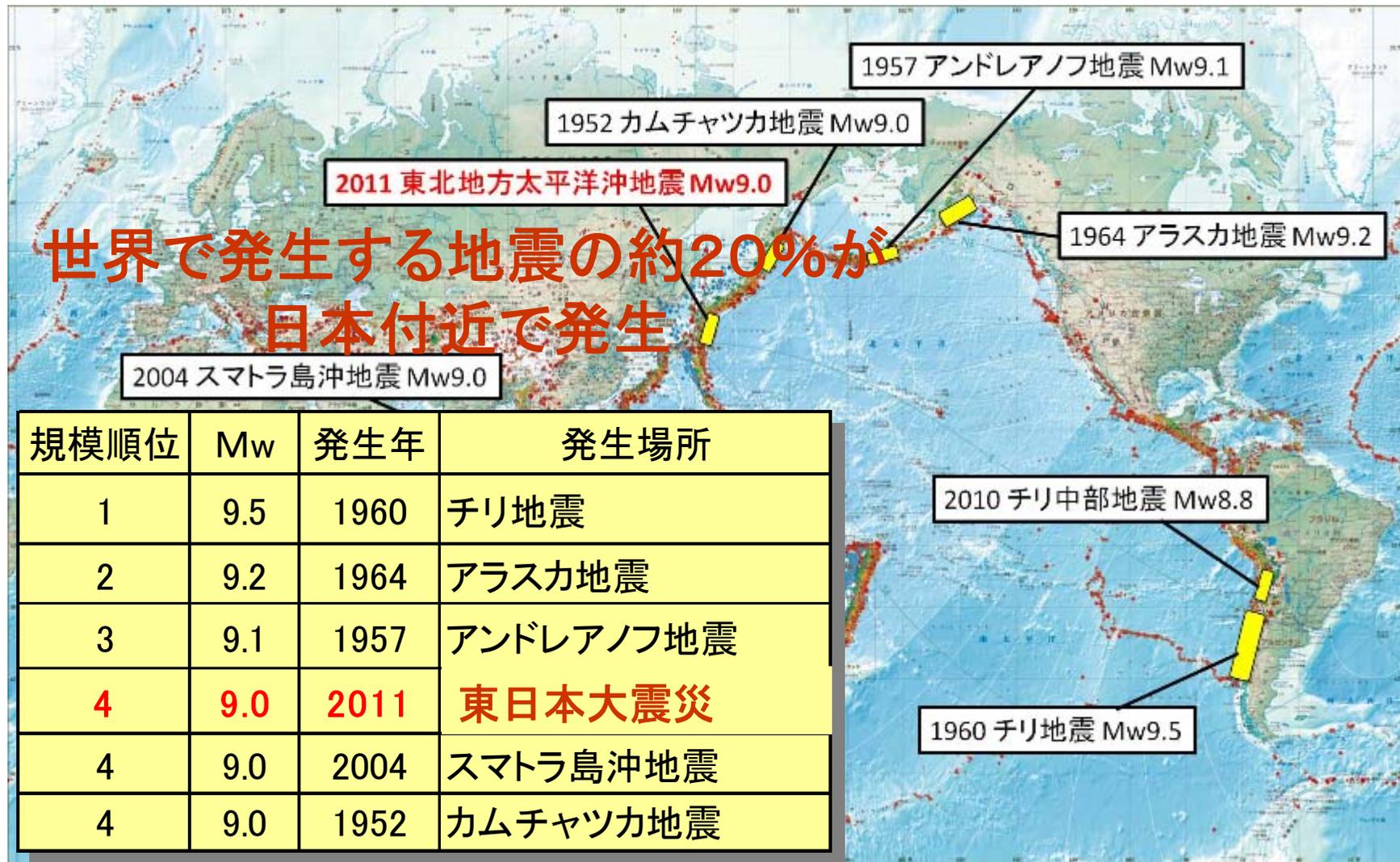
3か年計画の中で具体的に詰めたい

- ◆ JA事業重点業務に関する具体的対応策のつめ
(特に 経済 食糧 葬祭 等)
- ◆ 他県JA等との災害相互支援協定の締結
- ◆ 支店・事業所の災害時支援拠点としての位置づけ
- ◆ 役職員・組合員の防災・事業継続(減災)
意識啓発
- ◆ 組合員BCP支援 女性部・青壮年部との連携

目 次

1. はじめに
2. 庵原支所女性部主催
「自然災害対策研修会」(2014.08.08実施)
を振り返って
3. **発生が予想される東海、東南海、
南海・南海トラフ地震の特徴**
4. 予想される大規模災害への備え
5. 講演の振り返り

世界の震源分布と超巨大地震



1900年以降に起きたMw8.8以上の地震を世界震源地図の上にプロットしたもの。黄色の四角は断層面をあらわし、マグニチュードの大きさにおおむね対応するように描かれている。

日本列島で活発化する地震・火山活動



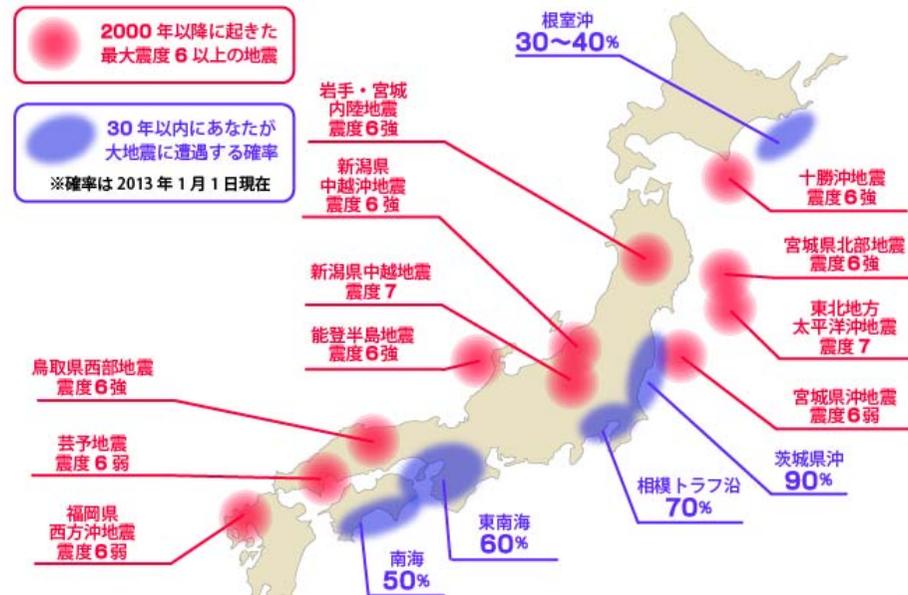
2014.09.27
木曾 御岳山



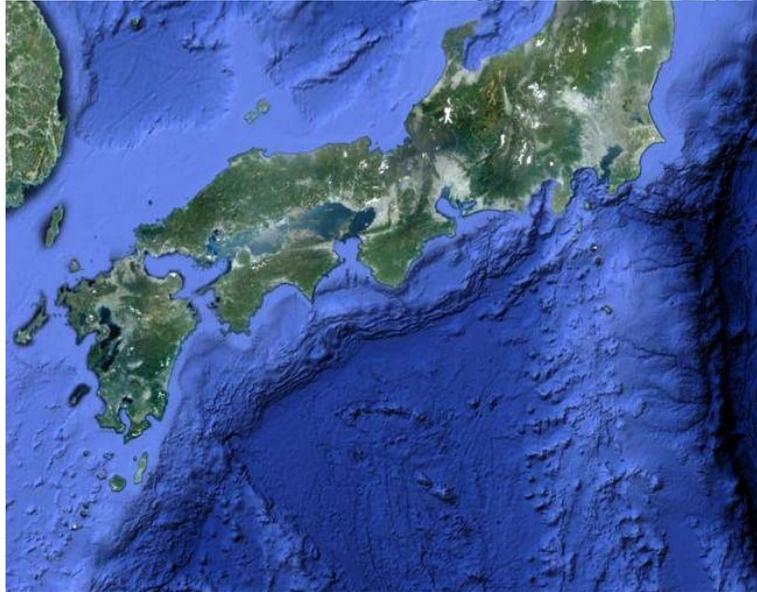
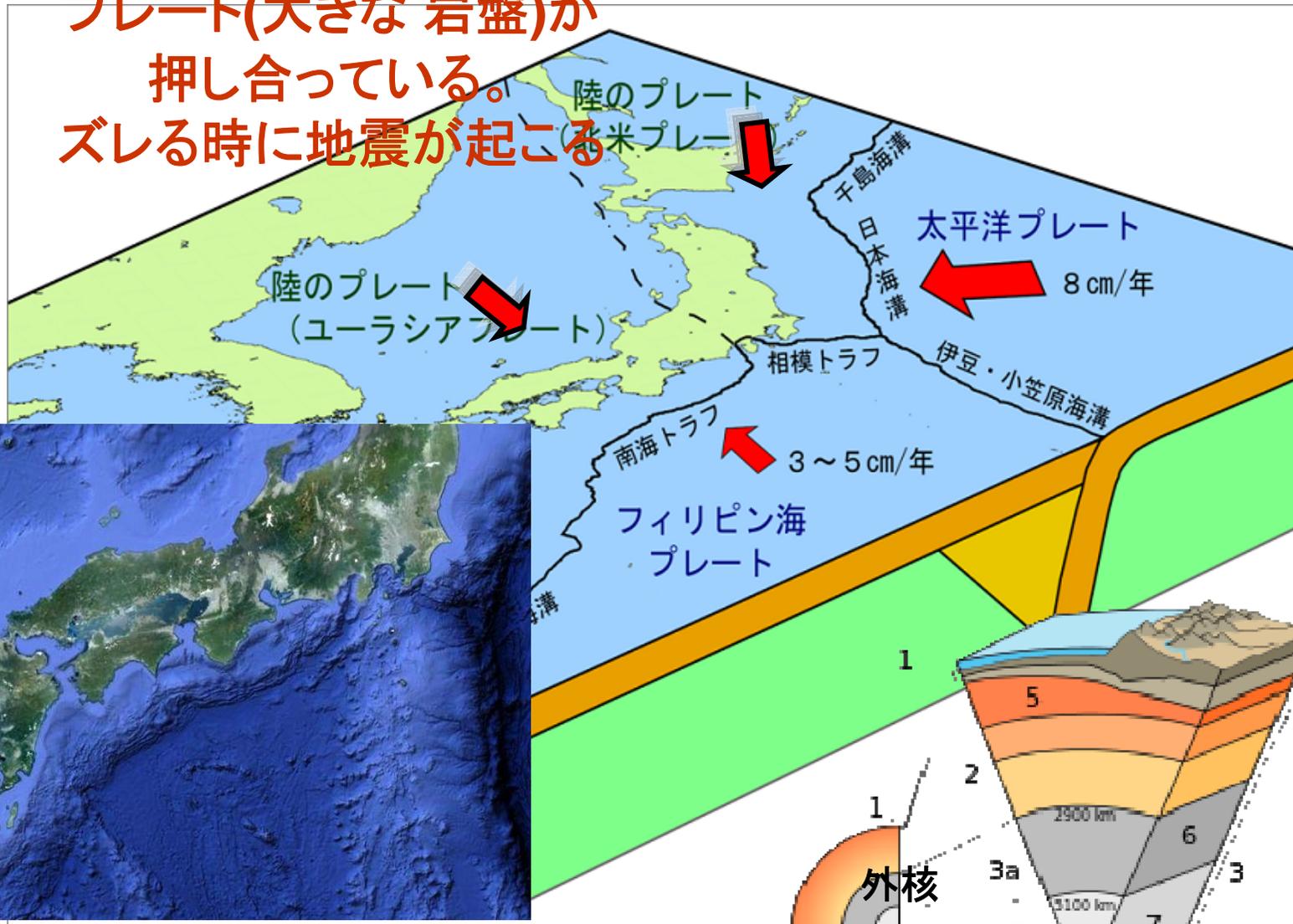
2011.01.19
九州 霧島 新燃岳



日本に住んでいる限りこのリスクは避けられません

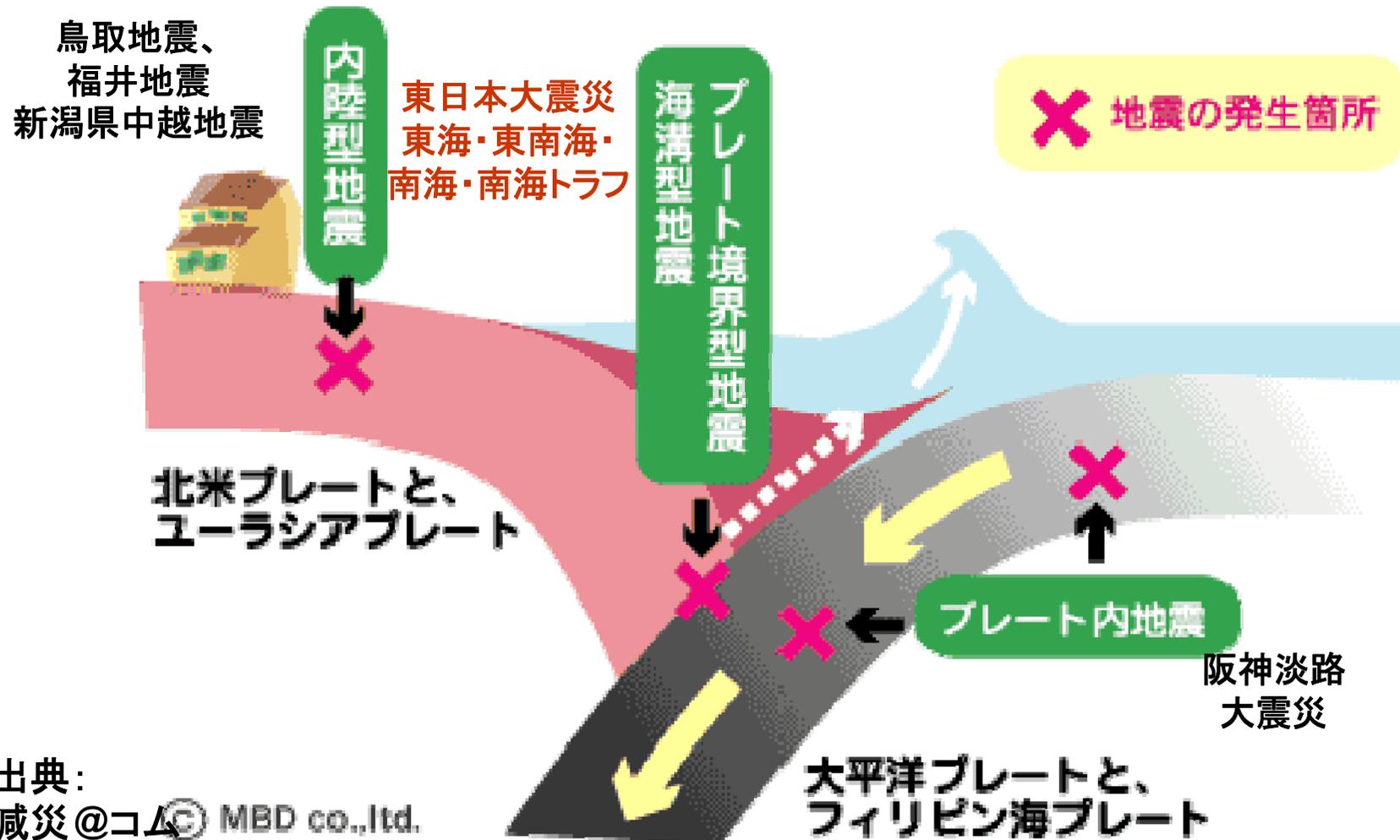


プレート(大きな岩盤)が
押し合っている。
ズれる時に地震が起こる



トラフ: 海盆、海溝

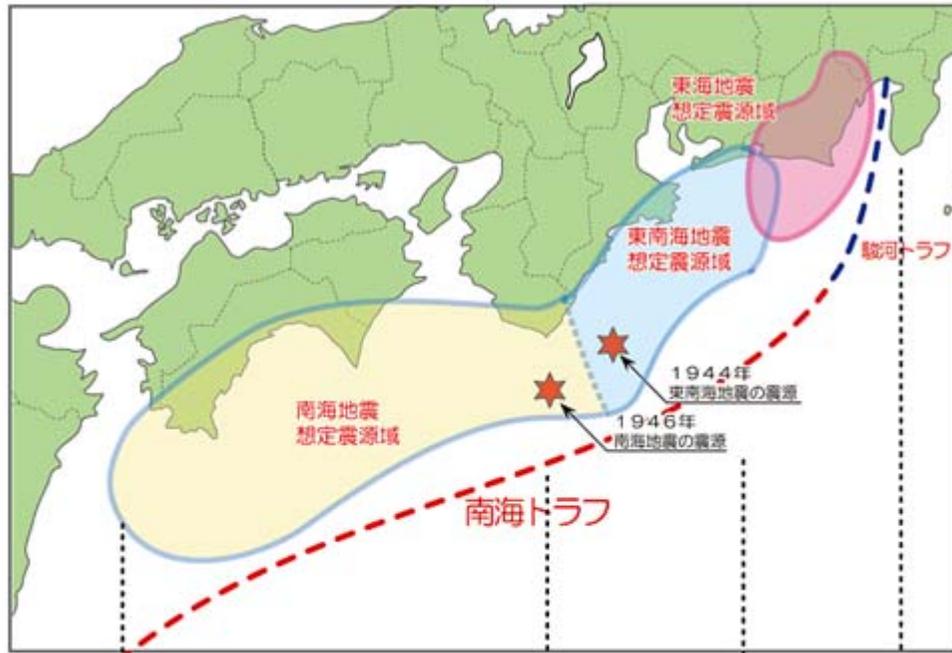
地震発生タイプ



出典:
減災@コム © MBD co.,ltd.
http://www.gensai.com/jousiki/daikibo_shinario_irasuto.html

ARMS All Rights Reserved.

発生が予測される東海 東南海 南海 南海トラフ地震



今後30年間に発生する確率%

東海:88

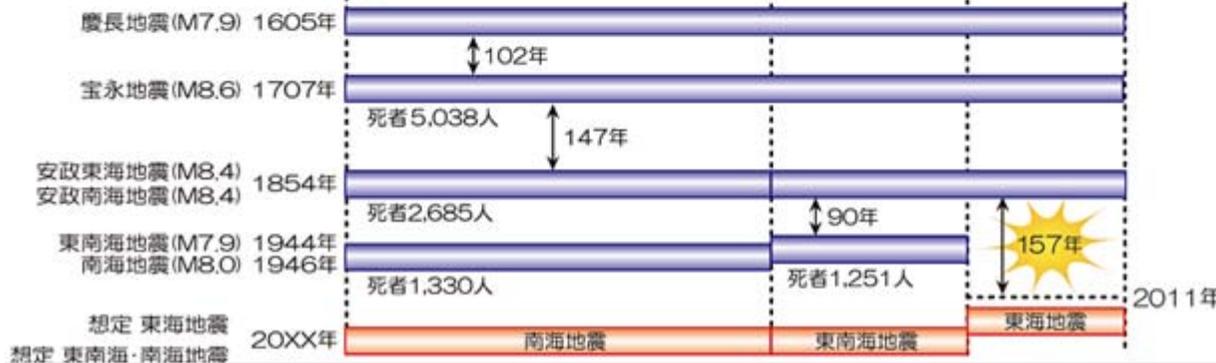
東南海:61

南海:51

政府の地震調査委員会
2012.01.01基準

特徴

- ・強く長い揺れ
脆弱な建物の倒壊
- ・火災の発生
- ・液状化の発生
- ・早い津波の発生
- ・人口密集地で発生



静岡県危機管理局HP 静岡県総合基盤地理情報

ARMS All Rights Reserved.

出典: 気象庁HP

地震以外の自然災害、事故、その他の30年発生確率

交通事故で死亡 0.2%

交通事故で負傷 24%

航空事故で死亡 0.002%

火災で死亡 0.24%

火災で負傷 1.9%

台風で死亡 0.007%

台風で負傷 0.48%

大雨で死亡 0.002%

大雨で負傷 0.5%

ガンで死亡 6.8%

心疾患で死亡 3.4%

肺炎で死亡 2.0%

自殺 0.75%

殺人 0.03%

空き巣 3.4%

ひったくり 1.2%

すり 0.58%

強盗 0.16%

出典：(株)Jコーポレーション HP

http://www.jjjnet.com/jishin_kakuritsu.html

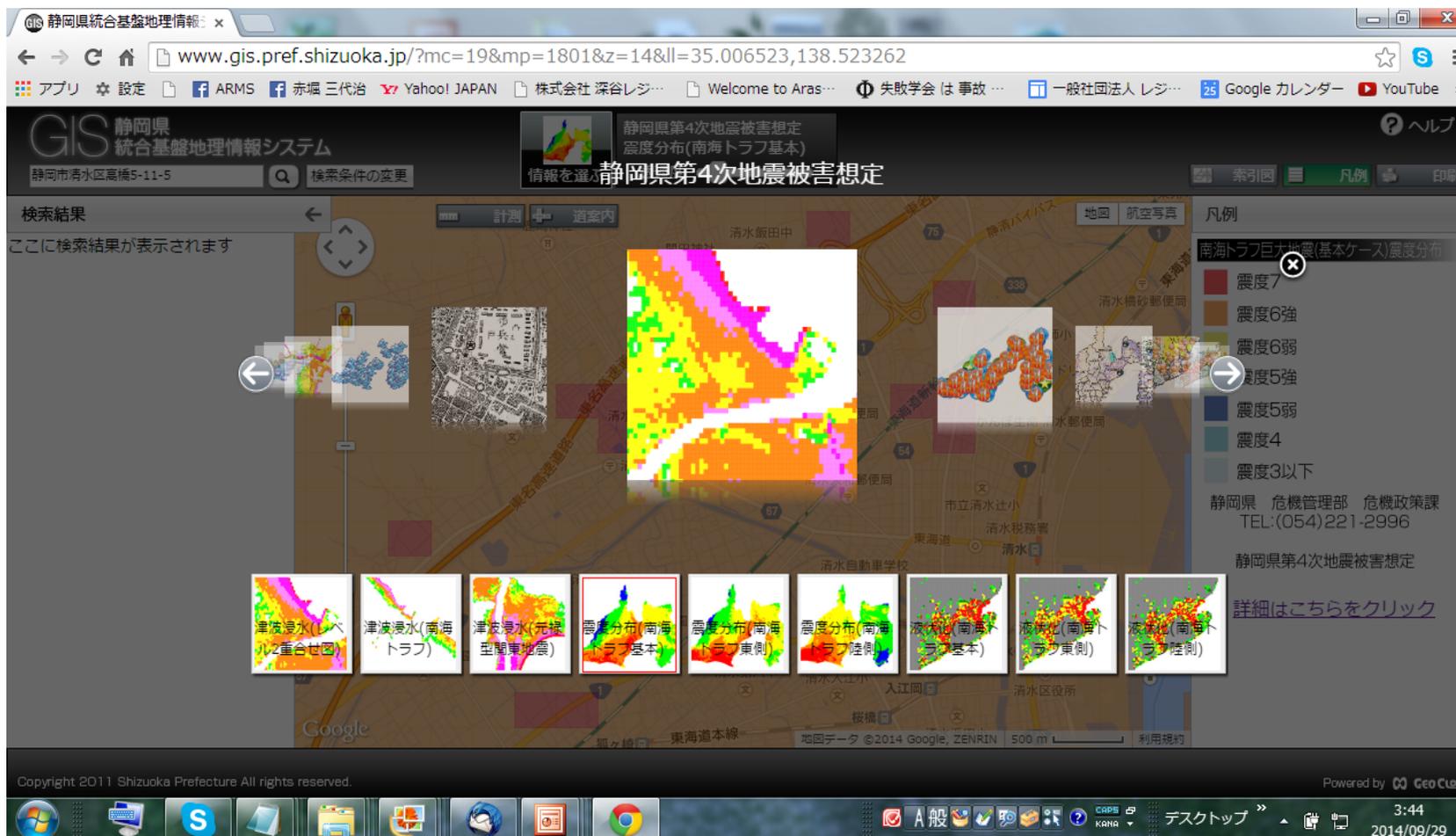
大規模震による被害額は.....

地震名	被害額 兆円
阪神	10
東北	16
東海	37
東南海・南海	57
東海・東南海・南海	81
首都直下	112

H26年度国家
予算
95.9兆

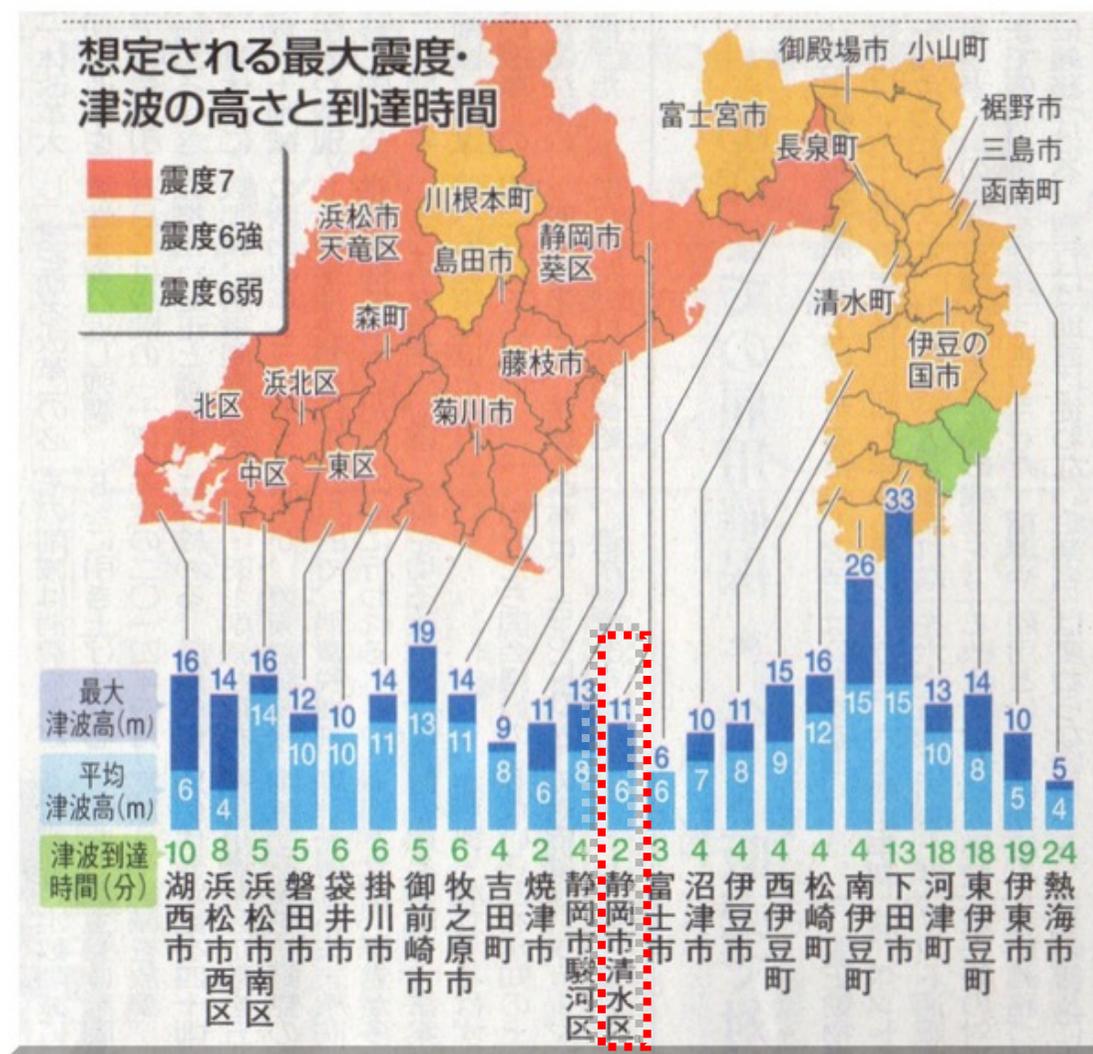
静岡県第4次被害想定

静岡県危機管理局HP 静岡県総合基盤地理情報



静岡県東海地震第4次被害想定

レベル2



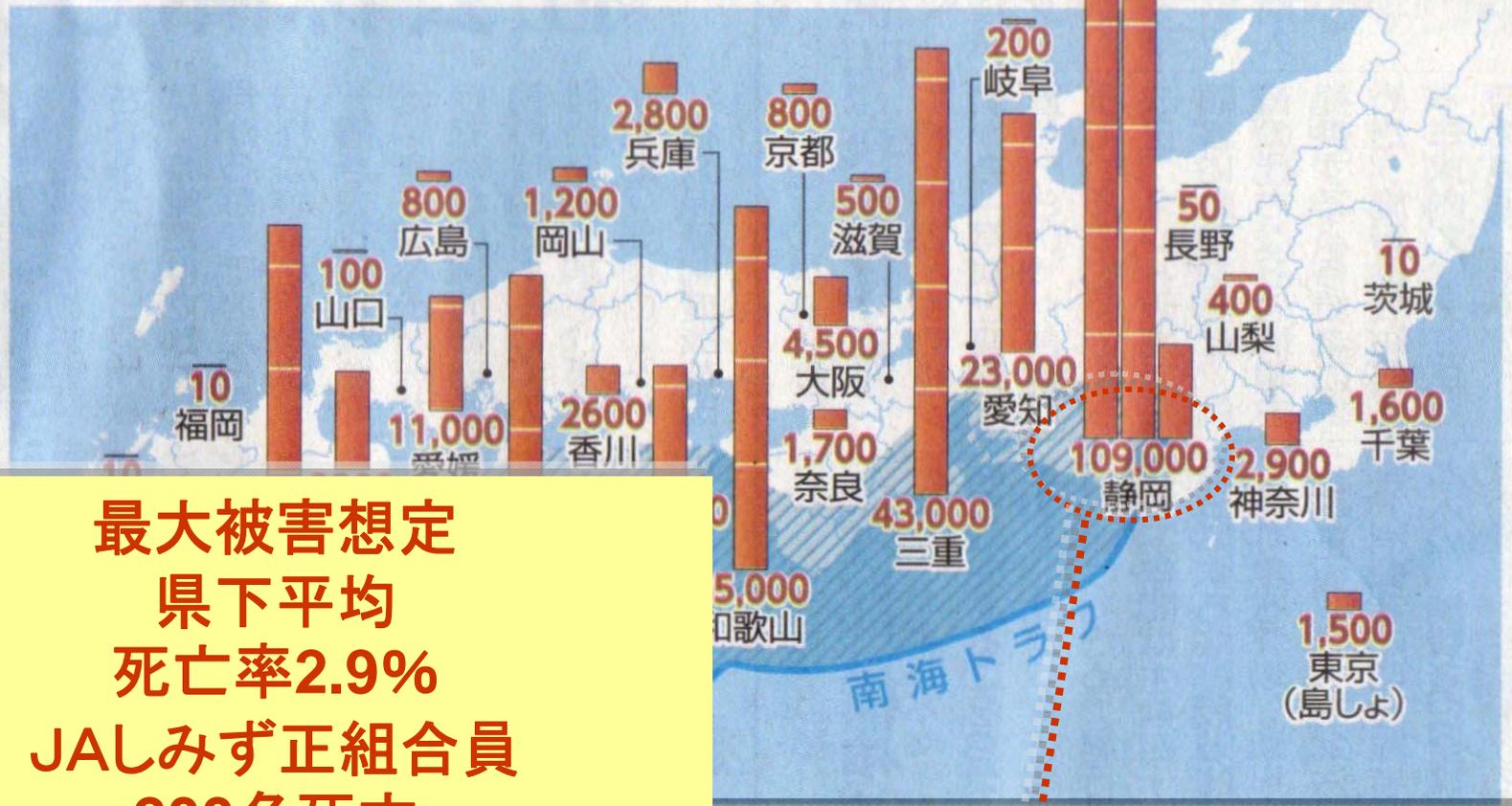
清水は どうなるの

2012/08/30 中日新聞朝刊より

レベル2 大規地震発生時の最大被害想定

被害が最大となる場合の都府県別死者数

※冬の深夜、風速毎秒8m、避難が遅れたケース



最大被害想定
県下平均
死亡率2.9%
JALしみず正組合員
200名死亡
家族含めると800名死亡

新聞朝刊より

$$109,000 / 3,760,000 = 2.9\%$$

$$\text{清水} : 230000 \times 0.029 = 6,670 \text{人}$$

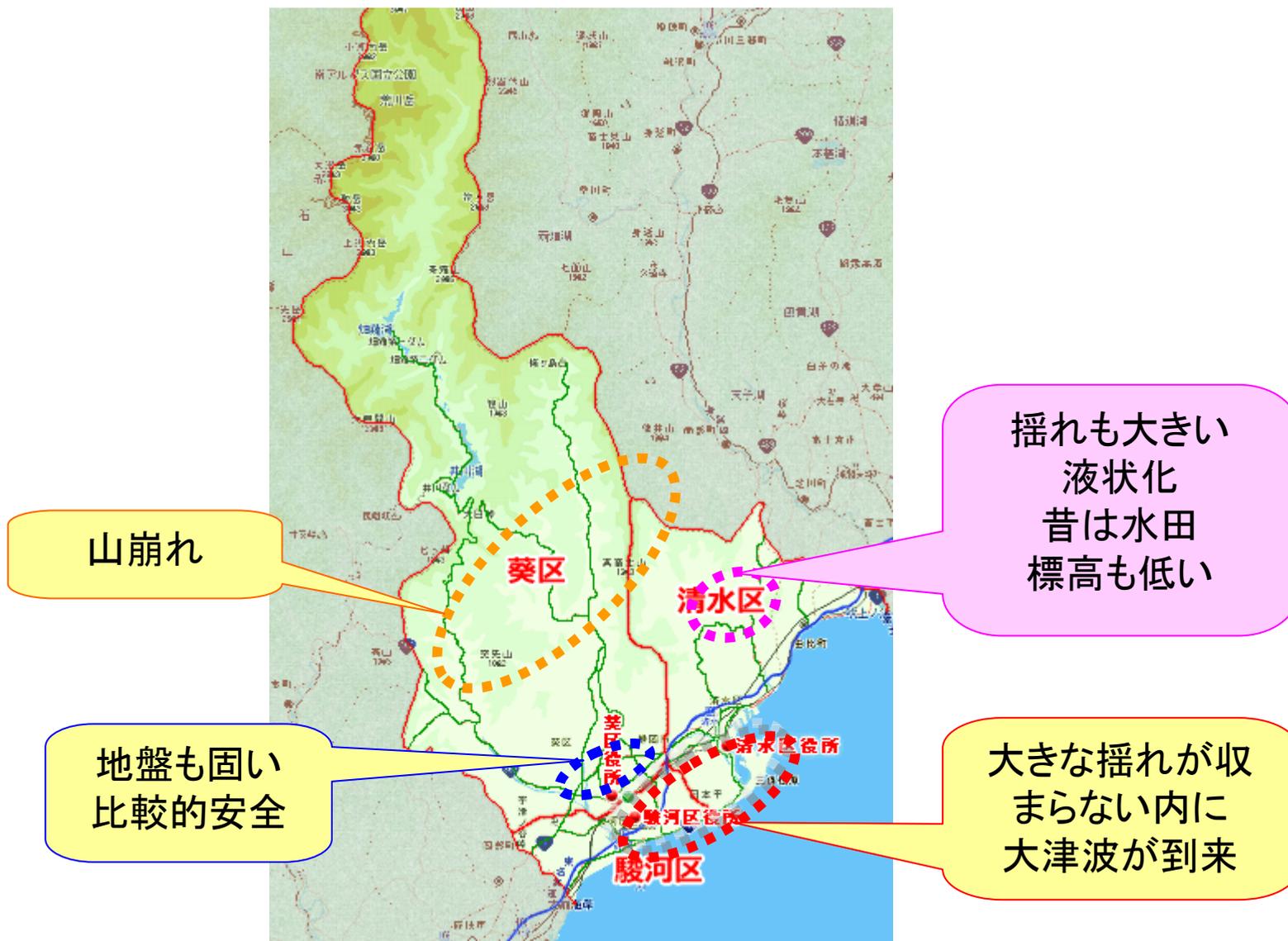
目 次

1. はじめに
2. 東日本大震災の概要と被災地を訪問して
実態と教訓
3. 発生が予想される東海、東南海、
南海・南海トラフ地震の特徴
4. **予想される大規模災害への備え**
5. むすび

東日本大震災から私が学んだこと

- ◆ 公助・共助・自助における**自助の大切さの再認識**
「自分のいのちは、自分で守る」
被害想定・ハザードマップを信用しすぎない
「家の生活・事業、は自分で継続させる」
この意識が希薄となっていなかったか...
- ◆ 防災から**減災への発想の転換**
完璧な対応はあり得ない。限られた資源の中で、どう工夫して減災につなげるか。被災後の生活・事業継続の事前準備。
- ◆ 大規模地震への対応力向上にむけて
さらなる防災・減災 **意識啓発活動の強化**

静岡市の大規模地震被災予想



ARMS All Rights Reserved.

静岡市の海拔分布図 0~10m



2014.10.06 台風18号による水害

被災された方
心より、お見舞い申し上げます。



大規模地震リスクへの対応手法

① 回避

リスクのそのものにかかわらない
対応手法

- ・静岡から地震の発生確率が低い地域(国内外へに住居を移転)

② 転嫁(移転)

大規模災害等、リスク発生影響度が大きい場合の対応手法

- ・大規模災害リスク転嫁
損害保険加入により、
第三者にリスクを転嫁等(JA共済加入)

③ 軽減(低減)

リスクの発生確率、影響度の両方または、いずれかを小さくすることで、
リスクの大きさを低減させる対応手法

地震対応として、一般的に取り組みたい内容。

- ・強い揺れへの対応
耐震診断に基づく家屋の耐震補強 家具の固定
- ・津波への対応
避難場所の確保、訓練の実施
- ・被災後の連絡方法の徹底 訓練
- ・被災後の水、食料の備蓄
- ・事業継続計画の策定 運用 等

④ 受容(保有)

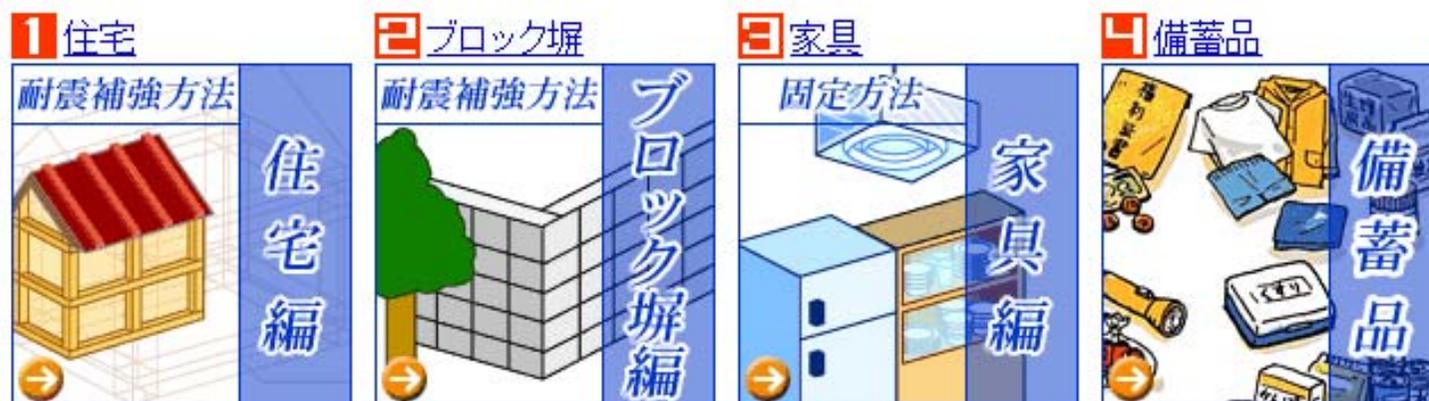
リスク低減対応費用が効果よりも大きい場合や、発生頻度・影響度が小さい場合の対応手法

- ・地震発生後の到達予測津波最高値まで防波堤を用意するには費用が掛かりすぎるので、中間値の高さを用意。
想定以上の規模の津波が到達するリスクは受容する。

わが家の地震対策

耐震補強メニュー

— あなたの大事な家族の命を守れますか。 —
なにもかも奪いさる大地震、わが家の耐震性を知り、必要な備えを行いましょう。



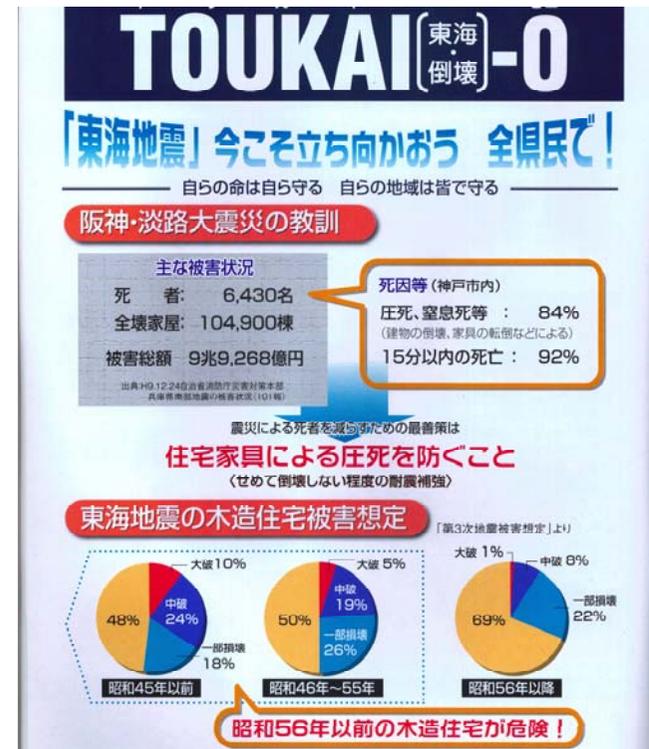
地震

わが家を守る安全対策

- ・建物耐震化、家具固定等の対策
- ・耐震工事費用と行政支援 等



対比動画 視聴



地震

わが家を守る安全対策



東海地震被災イメージのシミュレーション

被災時に、どの地域の、どの建物の中にいるかが
生死を分ける

阪神大震災での死者の84%は建物の倒壊等による圧死によるもの

東海地震は津波による被害も大きい。

まず、自分の命、家族の命、職員の命をどう守るか.....
具体的事業継続は、その次.....(命がなければ、次はない)

自宅、事務所が立地している地域並びに自宅の被災状況をイメージし、
対応・対策を講じることが大切。

分子

建物の被災状況 → 全壊率テーブル

分子

分母

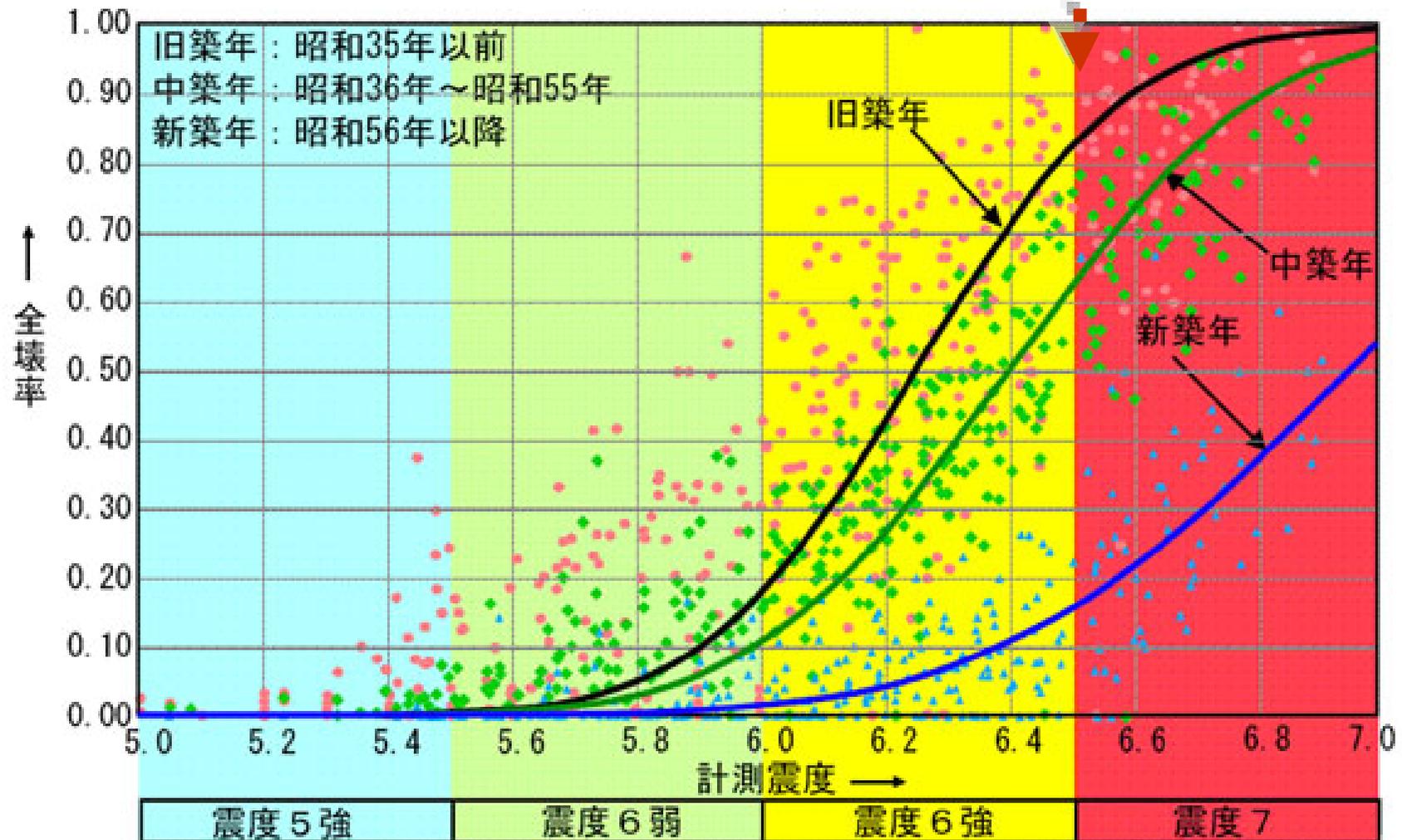
地域の被災状況 → 被害想定

分母

出典：2009年静岡県防災士講座 常葉大学小村准教授資料加工作成

ARMS All Rights Reserved.

木造建物の全壊率テーブル



あなたの自宅はテーブルのどの位置にありますか？

私の自宅の耐震補強工事

1974年築
1990年改築

第一次工事: 2001年
家屋補強

簡易耐震係数
0.5

簡易耐震係数
1.0



第二次工事: 2011年
屋根交換
瓦⇒ガルバニウム

簡易耐震係数
1.5



ARMS All Rights Reserved.

リスクコントロール ~リスクへの対応手法~

転嫁(移転)

 JA共済

 いえの保障

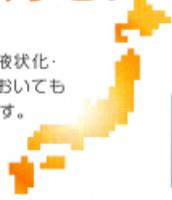
災害に、「むてき」の力を。

東日本大震災の現場から ——

東日本大震災では、海岸から数キロ内陸にわたり津波や液状化・地盤沈下などによる甚大な被害が発生した他、内陸部においても家屋の倒壊や土砂くずれなどによる被害も発生しています。JAの建物更生共済「むてき」はこのような地震による被害にもしっかり備えることができます。災害に幅広くお応えできる、「むてき」の保障です。

地震も!
火災も!
自然災害も!

建物更生共済
むてき



津波による被害
岩手県陸前高田市/写真提供:日本農業新聞



液状化による被害
千葉県浦安市/写真提供:共同通信社



津波による被害
岩手県陸前高田市/写真提供:日本農業新聞



土砂くずれによる被害



建物更生共済 地震被害に伴う共済金(上限額)支払 シュミレーション

共済 見直し 一覧 例

		現在加入額	損害割合			
			全壊(※1)	50%以上	10%以上	5%以上
自宅	建更	2,800 万円	1,400 万円	700 万円	140 万円	
	家具家財	1,200 万円	600 万円	600 万円	600 万円	600 万円
倉庫	建更	250 万円	125 万円	63 万円	13 万円	
アパート	建更①	6,800 万円	3,400 万円	1,700 万円	340 万円	
	建更②	3,500 万円	1,750 万円	875 万円	175 万円	
	建更③	3,500 万円	1,750 万円	875 万円	175 万円	
	建更④	3,500 万円	1,750 万円	875 万円	175 万円	
計		21,550 万円	10,775 万円	5,688 万円	1,618 万円	600 万円

※1 「全壊」の例

- ・基礎の被害の程度が50%を超えた場合
- ・建物全体が傾斜し、建物四隅の柱の全てに3度以上の傾斜が確認できた場合 など

土地 他 資産 見直し

ARMS All Rights Reserved.

資産が負債に

目 次

1. はじめに
2. 東日本大震災の概要と被災地を訪問して
実態と教訓
3. 発生が予想される東海、東南海、
南海・南海トラフ地震の特徴
4. 予想される大規模災害への備え
5. **むすび**

日本人のリスク・危機感性の特徴



1. 危機意識が希薄
2. 自己防衛意識の欠如
3. 自意識が過剰
4. 自己対策意識が欠如
5. 意識の風化が早い

私の忘れられないこわい体験

1976年 鬼怒川温泉

JA職員と研修

宿泊先 ホテルにて

深夜3階の部屋にて 火災に遭遇

飲酒後 熟睡

「火事だ」の声で目をさますが

部屋は電気が消え、真っ暗

とりあえず、廊下まででるが

すでに煙がでていた

幸い、廊下の先に非常灯の明かりをみつけ、

非常階段にたどりつき、駆け下りて助かる



バスに乗るときも、トラブルを想定しておきましょう



もし、ここで地震に遭遇したら...

どこで被災するかわかりません。
どう対応するのか
イメージングしておきましょう！！



ARMS All Rights Reserved.

出典:2011.3.5 静岡新聞

出典:2010.7.10 岩手日報

地震発生時の対応 訓練

緊急地震速報を携帯電話で受信しました。

さあ、あなたはどうしますか。

今から

訓練を試してみましょう！！

地震発生時の対応 訓練



しせいをひくく、あたまをまもり、じっとする。
あなたをまもる行動です。



『 たぶん、大丈夫だろう 』 ではなくて
『 までよ。ひょっとしたら、危ないかもしれない 』

リスクに対して、
こうした謙虚な態度をもちつづけましょう。
あなた、あなたの家族、従業員、
ご利用者、地域の人々を守るために.....

「講演の聴き流し」 ただけでは 「危機流し」
となってしまいます。
具体的行動をはじめましょう！！

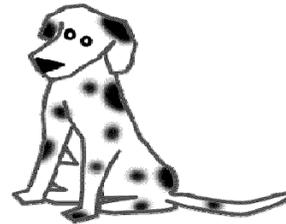
本日の講演を振り返って

- 1.⇒ 本日の講演を聴いて、感じたことを書いてください。

- 2.⇒ これから、災害に備えて、あなたは、何をしますか。
書いてみてください。
具体的に.... 。（どんなことでもよい）

END

ご清聴ありがとうございました。



Association of
Risk Management
Japan

ARMS アカホリ リスクマネジメント システム

あかほり みよじ

代表 **赤堀 三代治**

リスクマネージャー・リスクアドバイザー
(リスクマネジメント協会認定)

〒424-0041 静岡市清水区高橋5-11-5
TEL:09012888954 FAX:054-366-0098
e-mail : m-a@msj.biglobe.ne.jp
blog : <http://infor-clip.269g.net/>